

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 運営委員会

第2回会議

Digital Smart City HAMAMATSU



令和2年7月17日





- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 会員の申込状況
- 4 会員へのアンケート集計結果
- 5 浜松市デジタル・スマートシティ構想の方向性
- 6 浜松ORI-Projectの審査結果
- 7 浜松デジタル・スマートシティMONTH事業の概要
- 8 意見交換
- 9 閉会

2 あいさつ

Digital Smart City HAMAMATSU



委員長（浜松市副市長） 長田 繁喜

3 会員の申込状況



会員の申込状況

- ・ パートナー会員10団体、一般会員72団体の計82団体からの申込（令和2年7月9日時点）。
- ・ 令和2年5月7日時点の52団体より、一般会員30団体が新規会員に。

新規会員（50音順）

No.	法人名	No.	法人名
1	株式会社ウェブチップス	16	損害保険ジャパン株式会社
2	株式会社エイ・エム・シー	17	中部電力株式会社
3	株式会社クラ・ゼミ	18	株式会社日本シャルフ
4	学校法人倉橋学園	19	株式会社はあもにい
5	株式会社クレストック	20	株式会社浜名湖国際頭脳センター
6	株式会社こころ	21	浜松開誠館中学校高等学校
7	株式会社小松組	22	不二総合コンサルタント株式会社
8	株式会社コモニー	23	ふじのくに竹王国企業組合
9	株式会社コラボレーション	24	株式会社マウントディグ
10	株式会社サンロフト	25	株式会社ミダック
11	株式会社シーテック	26	株式会社MIREI
12	JFEエンジニアリング株式会社	27	株式会社モリロボ
13	静岡県浜松土木事務所	28	ヤマハ発動機株式会社
14	静岡県立天竜高等学校	29	株式会社ラック
15	株式会社ソミックマネージメントホールディングス	30	医療法人Respect

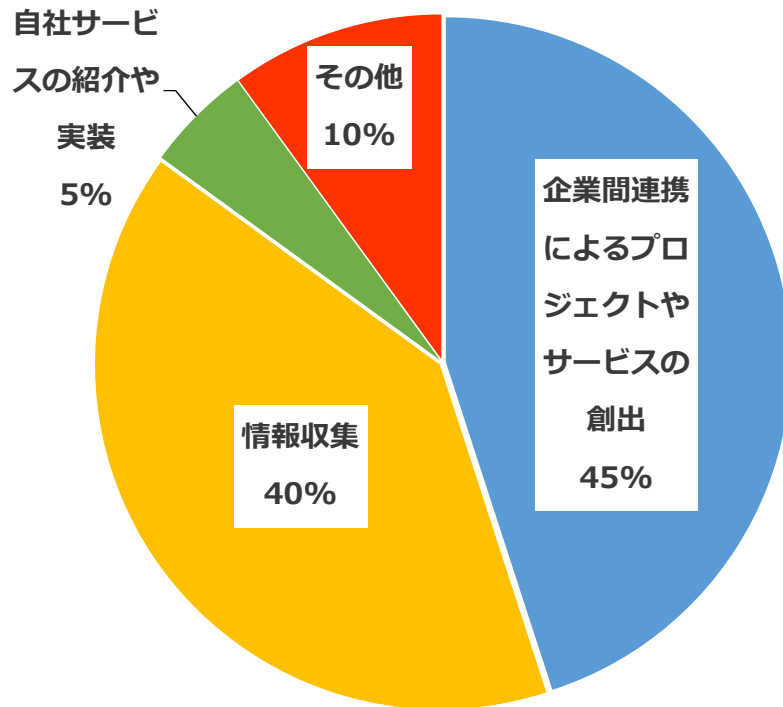
4 会員へのアンケート集計結果



会員へのアンケート集計結果

- 令和2年7月3日時点の会員81団体を対象にアンケートを実施（20団体より回答あり）。
- 企業間連携によるプロジェクトやサービスの創出や情報収集を目的に加入している団体が多い。
- 様々な分野における地域課題の解決意向を持っている。

Q1.プラットフォームへの加入目的



Q2.解決したい地域課題

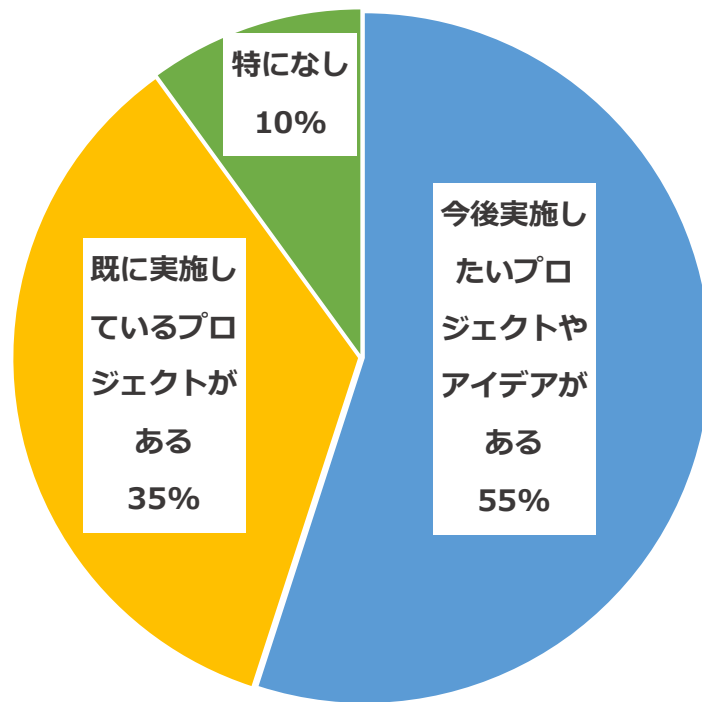
- エネルギーの効率化や再エネの活用、地産地消
- 移動の自由
- 災害対応のデジタル化、インフラメンテナンス
- 教育や障害児支援事業における遠隔支援
- もうかる農業の実現
- 中小企業の技術継承や雇用方法のDX改善
- デジタルツインおよびドローンAI管制システムを活用した物流や点検、監視
- ゴミとリサイクル
- PPP活用による公的負担の軽減
- マイナンバーカードの普及と利活用
- 安全安心なキャッシュレスプラットフォーム

など

会員へのアンケート集計結果

- 「今後実施したいプロジェクトやアイデアがある」または「既に実施しているプロジェクトがある」と6割以上が回答。
- 幅広い分野におけるプロジェクトの実施・実施意向がある。

Q3.プロジェクトやアイデア



Q3-2.実施中又は今後実施したいプロジェクト

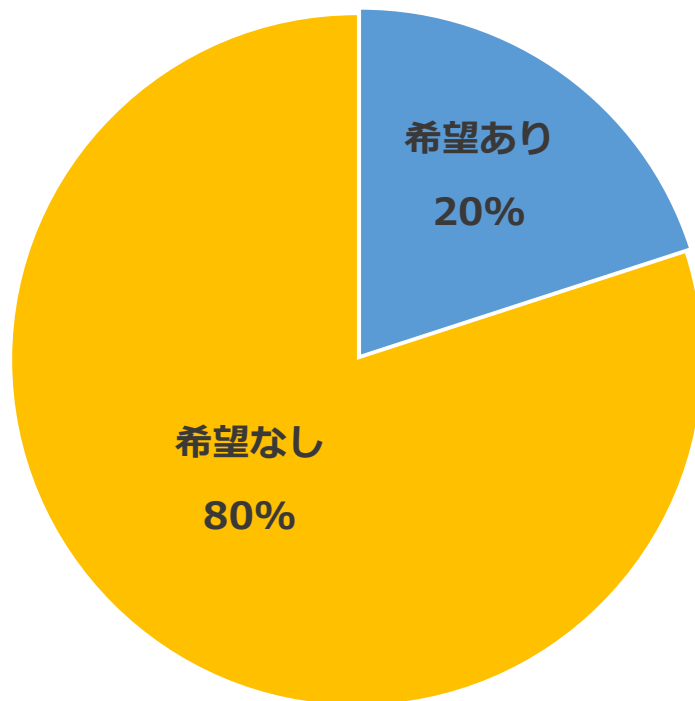
- バイオマスエネルギーの利用
- デジタルツインを用いた災害対応シミュレーション
- センサーやカメラを利用した防災やコロナ関連のプロジェクト
- 官民連携による社会インフラ維持管理
- クラウド上に蓄積した情報を活用した健康経営
- 子どもや高齢者の見守り系のサービス
- 次世代園芸
- 無人デリバリーや配達収集システム
- 事業所のIT導入応援プロジェクト
- 山間部や海・湖周辺の活用
(ビジネス、教育、新しい一次産業、レジャー)
- キャッシュレスプラットフォームの提供

など

会員へのアンケート集計結果

- 2割がピッチイベントが開催された際の登壇を希望。
- データの分析・活用やIT関連の企業、ドローンの関連企業等との連携を希望。

Q4.ピッチイベントへの登壇希望について



Q5.連携の希望について

- 5G通信サービスやマップデータ
- AIやICT、DX人材の採用強化を行いたい会員
- ビッグデータの活用に長けた会社
- 測量や土木系の会社（ドローン活用）
- 浜松地域のドローン会社
- 浜松医科大学、ルピオ
- データ化や分析に強みをもつ会社
- 建設会社やIT（i-construction、DX）系の会社
- 農業法人や農業関係者
- フォトブックサービスを行っている会社

※個別企業名は省略

など

- 会員同士の連携や交流を希望する会員が多い。

Q6.官民連携プラットフォームへのご要望

- 連携のコーディネート
- 参加者同士の交流の場
- PoCの検討、実現
- 勉強会や相談会の開催
- Slack上で共同プロジェクト立ち上げ用のチャンネルの開設
- 目標達成までの進め方の方針やロードマップの提示

など

5 浜松市デジタル・スマートシティ構想の方向性



5-1. 構想の背景

- ・ 浜松市は昨年10月に「デジタルファースト宣言」を行い、都市づくり、市民サービス、自治体運営にデジタルファーストで取り組み、デジタルの力を最大限に活かした、持続的な都市づくりを進める決意を表明しました。

デジタルファーストで目指す方向性

◆データ活用や地域課題解決を通じたイノベーションの活性化

- ・ データを資源と捉え、新たなビジネスのイノベーションを活性化
- ・ 地域課題の解決を通じた新たなサービスモデル構築の促進

◆デジタル化による生産性向上

- ・ デジタル対応による稼ぐ力の強化
- ・ 人口減少化における持続可能な地域産業の基盤づくり

◆デジタル技術やデータの活用による市民生活の快適化

- ・ 必要なサービスを時間や場所を問わず、最適な形で利用できる市民生活の構築
- ・ デジタル技術を活用した地域課題の解決

3つの戦略

1. 都市づくりのデジタルファースト【都市の最適化】

- ・ データや先端技術を最大限に活かし、産業の活性化や都市機能の高度化を目指す“デジタル・スマートシティ”政策を推進し、都市の最適化を図ります。

2. 市民サービスのデジタルファースト【市民サービス向上】

- ・ AI・ICT等先端技術を活用し、市民サービスを最適な形で提供することで、市民の利便性の向上を目指します。

3. 「自治体運営」のデジタルファースト【自治体の生産性向上】

- ・ AI・ICT等先端技術を活用し、業務の効率化や高度化を図るとともに、データ活用による自治体運営により、生産性の向上を目指します。

3つの戦略の取組

1. 都市づくりのデジタルファースト【都市の最適化】

- ・ 官民の分野横断的なデータ連携による都市の最適化
- ・ 医療・福祉・健康分野のデータ活用による健康寿命延伸
- ・ ICT活用による交通の最適化
- ・ ICT活用による中小企業の実業性向上
- ・ 農林業等各産業分野におけるAI等先端技術の活用
- ・ プロモーションのデジタルファースト（伝える戦略「3（制作）：6（伝達）：1（検証）」）

2. 市民サービスのデジタルファースト【市民サービス向上】

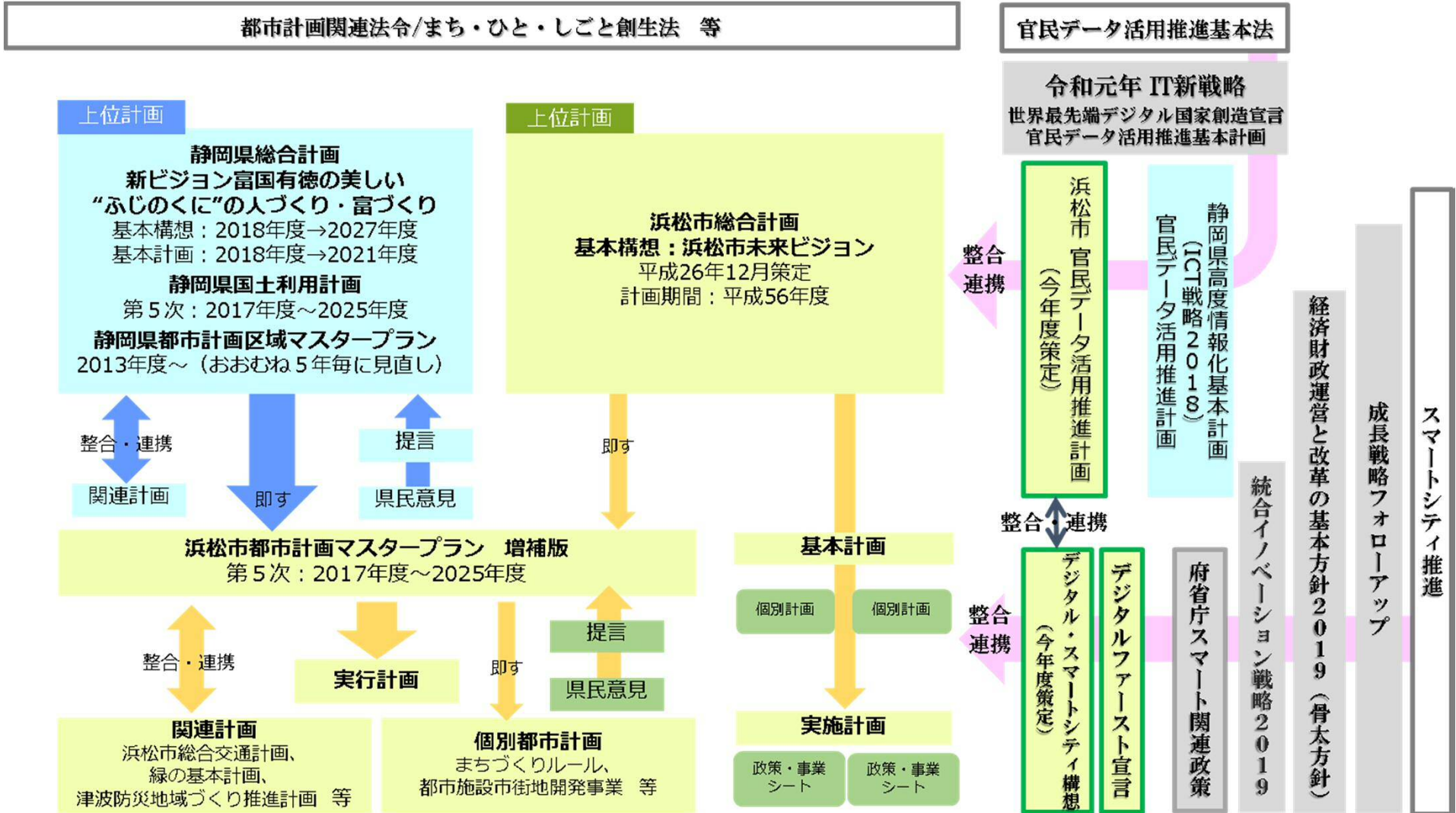
- ・ 行政手続きのオンライン化
- ・ デジタル技術を活用した問合わせ対応
- ・ 教育分野におけるICT活用
- ・ 多様な市民ニーズに合わせた行政情報の提供
- ・ ICT活用による多言語対応
- ・ 電子決済の推進

3. 自治体運営のデジタルファースト【自治体の生産性向上】

- ・ AI・ICT活用による業務効率化
- ・ オープンデータの推進
- ・ クラウド利用の推進
- ・ データ活用による自治体運営
- ・ デジタル人材の育成
- ・ 働き方改革の推進

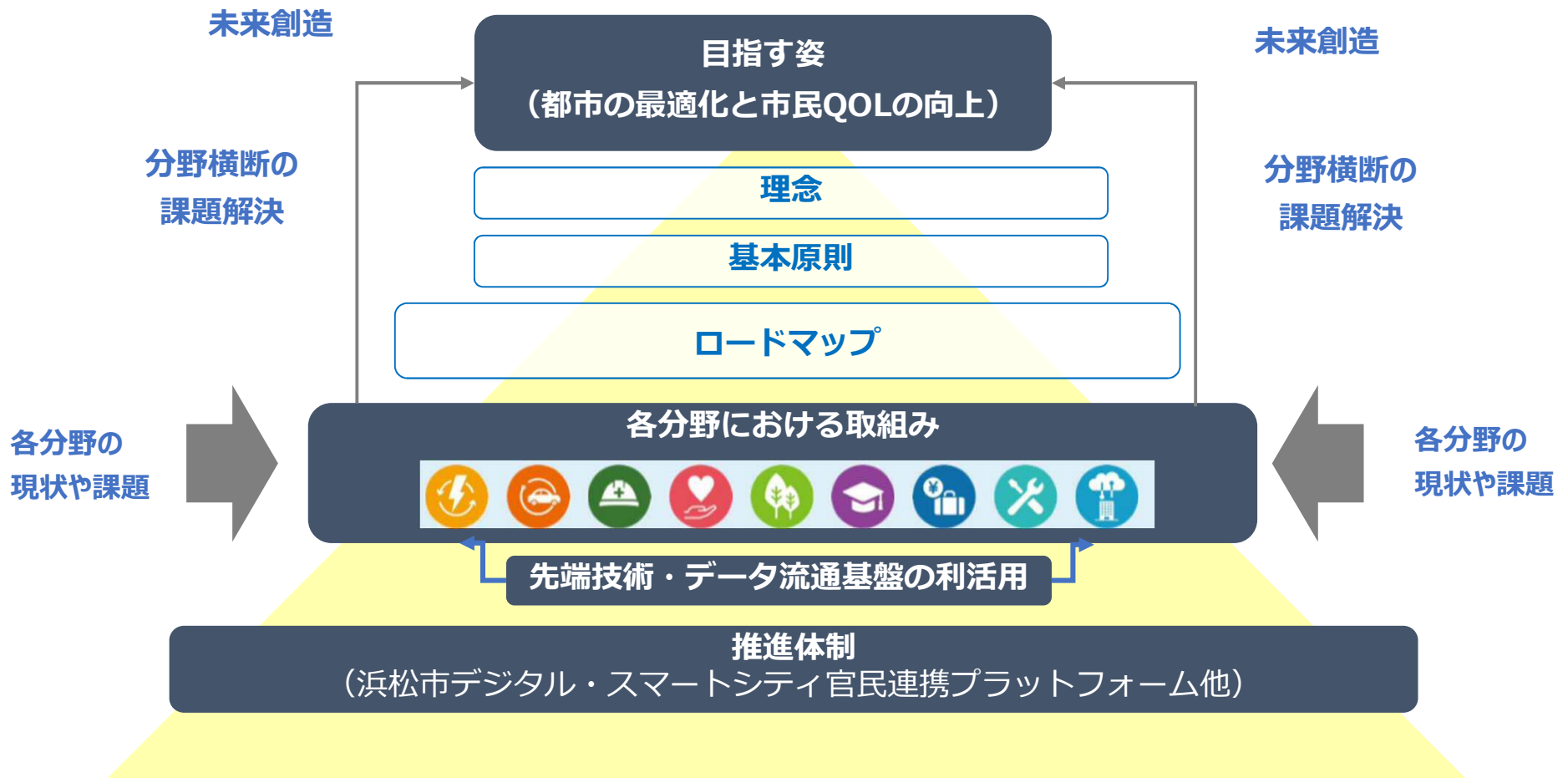
5-2. 構想の位置づけ

- ・ 浜松市デジタル・スマートシティ構想は、上位計画である総合計画や国のスマートシティ関連政策との整合性をとり策定します。
- ・ 策定に当たっては、官民連携プラットフォームと連携し策定します。
- ・ withコロナ/ポストコロナを見据えた構想として策定します。



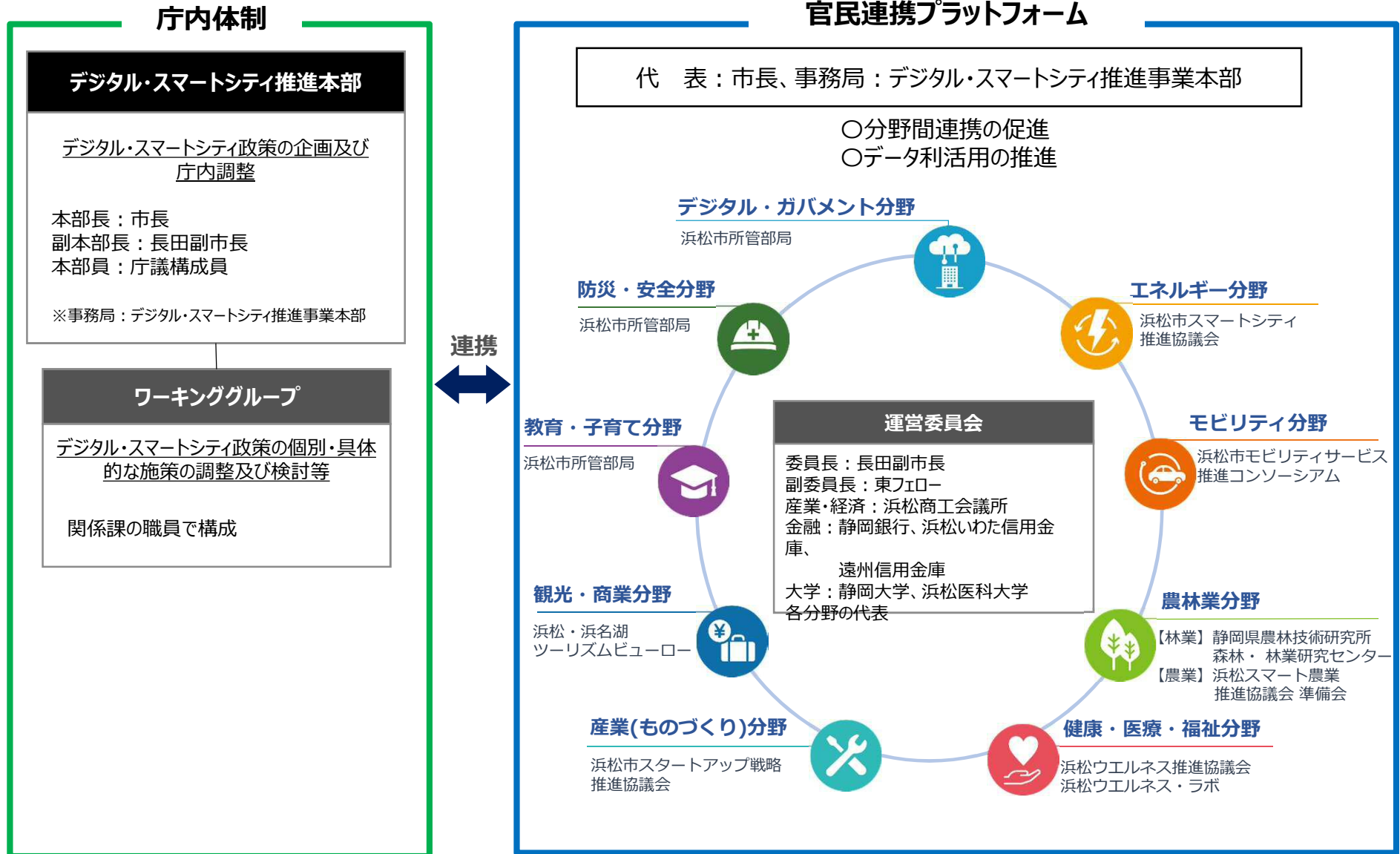
5-3. 構想の概要

- ・ 構想では、デジタル・スマートシティ推進の目指す姿や理念、基本原則、ロードマップ、推進体制等を示していきます。



5-4. 推進体制

- ・官民連携プラットフォームは、多様な主体を巻き込み、分野間連携やデータ利活用を促進する役割を担っており、構想に係る取組推進において重要な役割を担う組織になります。



5-5. 策定スケジュール

令和2年度	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎調査 構想策定 <ul style="list-style-type: none"> ① 国の政策動向 ② 本市の現状と課題 ③ データ活用に 関する課題 	<div style="text-align: center;"> <p>基礎調査</p> <p>構想策定</p> </div>									
		● 構想の方向性		● 素案骨子策定		● 計画案策定				● 構想策定
パブコメ								パブコメ 募集		● 議会委員会 (パブコメ前報告) ● 庁議 (パブコメ前報告)
										● 議会委員会 (パブコメ後報告)
運営委員会		● 第2回運営委員会		● 第3回運営委員会		● 第4回運営委員会				● 第5回運営 委員会
関係者ヒアリング 意見反映	関係機関、 団体へ ヒアリング① 意見反映		関係機関、 団体へ ヒアリング② 意見反映							

5-6. 各分野の課題

※ヒアリングを基にした中間整理

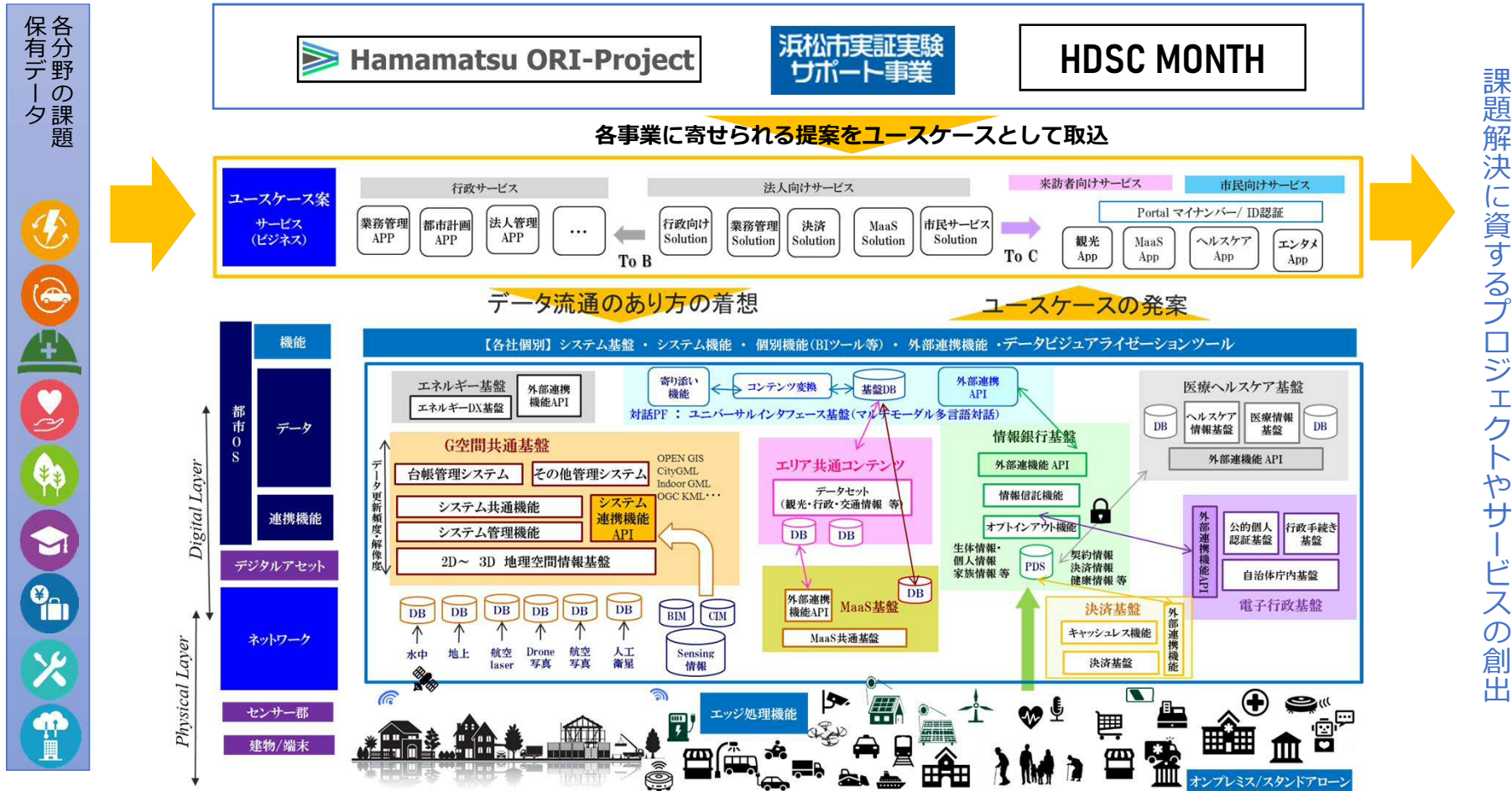
- ・ヒアリングを通じ整理した各分野の課題（中間整理）は以下のとおりです。
- ・官民連携プラットフォームの機能やOri-Project等の事業を活用し、これらの課題解決を図るプロジェクトやサービスを創出していきます。

<h3>エネルギー分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー地産地消の仕組みの構築が必要 ・2031年の市内太陽光FIT終了後等の卒FIT対応のための環境整備が重要 ・再生可能エネルギー導入に当たって地域と調和した導入促進が必要不可欠 ・各再生可能エネルギーの導入に当たって、事業化・収益化モデルの構築が重要 ・スマート化（スマートコミュニティ）の構築に当たって、官民が保有するデータの一元化・可視化が必要不可欠 	<h3>モビリティ分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地においては、自動運転は将来的に有効な手段となり得る ・移動データの利活用においては、移動サービスに閉じない、他産業・他分野と連携したサービス創出が必要 ・中山間地域において、持続性の高い公共交通モデルの構築は喫緊の課題であり、近い将来、中心市街地を除く市内全域にもあてはまる課題である 	<h3>防災・安全分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19、LGBT対応を踏まえた避難所運営方法の構築 ・自主防災隊間、自主防災隊と自治会・市民間など末端の情報収集・共有の効率化 ・指定避難所以外への避難所への物資補給の効率化 ・山間部交通網断又は渋滞への対応 ・浸水予測に基づく効果的な避難勧告及び効率的な防災対応の実現 	<h3>健康・医療・福祉分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・健康データのデジタル化を含む活用には、本人同意と個人情報保護が必須 ・市のデータベースとウエルネスラボのデータPFの統合、ウエルネスラボの実証実験で収集したデータのデジスマ関連施策での利用については、具体的なデータ連携のユースケースとメリットを関係者に示し、理解を得ることが必須 ・浜松市内の病院のデータには互換性がないため、現状では連携は困難であるが、現在、国主導で整備を進めているPHRの活用を見越して、ステークホルダーの連携を構築していくことが必要
---	---	--	--

<h3>農林業分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・農業においては、現状、外国人活用率は高くない。しかし、就農者の減少により労働力は不足している。林業においては労働環境の3Kの解消が必要 ・農業においては、肉体労働の負荷軽減、生産管理、収穫・出荷予測に係るICT活用ニーズが高い ・農業においては、ICT機器等の機能と価格のバランスが求められる（高機能で高価格は求められていない）。農業者にはRaspberryPiなどの活用を検討している者も見受けられる ・林業においては下流のニーズに照らして山からどのような木が供給できるかといった逐次的データの取得・活用が課題 	<h3>教育・子育て分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のICT習熟度、家庭のICT環境のばらつきがオンライン授業実施に当たっての課題 ・全ての学生データの個人への紐づけは、保護者の理解獲得が困難 ・外国人保護者等に対応できる言語に堪能な指導者が不足 ・学校・スクールカウンセラー間はアナログな情報共有に依存 ・児童福祉手当を受給していないひとり親を把握できていない ・就学前施設の選択を助けるシステムの導入がニーズとして存在 	<h3>観光・商業分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の間隙を埋めない限り本来ハブとなるべき観光拠点のブランディングが不可能 ・リピート率が高いものの、平均消費額が低い単価の高い消費サービスへの誘導が必要 ・事業者においてレベニューマネジメントが可能になるような観光客のデータ収集及び活用方法の提示が事業者巻き込みが必要 	<h3>産業(ものづくり)分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業において新しいものを生み出す体制が必要 ・サービスやソフトウェアを作る機能の充実が必要 ・市内企業の下請け体質改善のため、足りない力を外から補う文化の醸成が必要 ・コロナ禍において、浜松市内の非正規の雇止めや外国人の雇用状況についての情報が取得できず、支援施策の立案が困難 ・コロナ禍による近隣の大都市への雇用の流動を避けたい ・コロナ禍で導入が進んだテレワークリモートワークの流れを取り込み、首都圏から企業を呼び込みたい 	<h3>デジタル・ガバメント分野</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・各課のオープンデータへの理解が進んでいない ・各課保有GIS系データのユースケース策定に苦慮 ・個人をデジタルIDに紐づける際のインセンティブ設計に苦慮 ・デジタルIDを市で整備した場合、既存の民間プラットフォームと連携できるかが懸念 ・購買データ等経済活動の推進に必要なデータを保有できていない
---	---	---	--	---

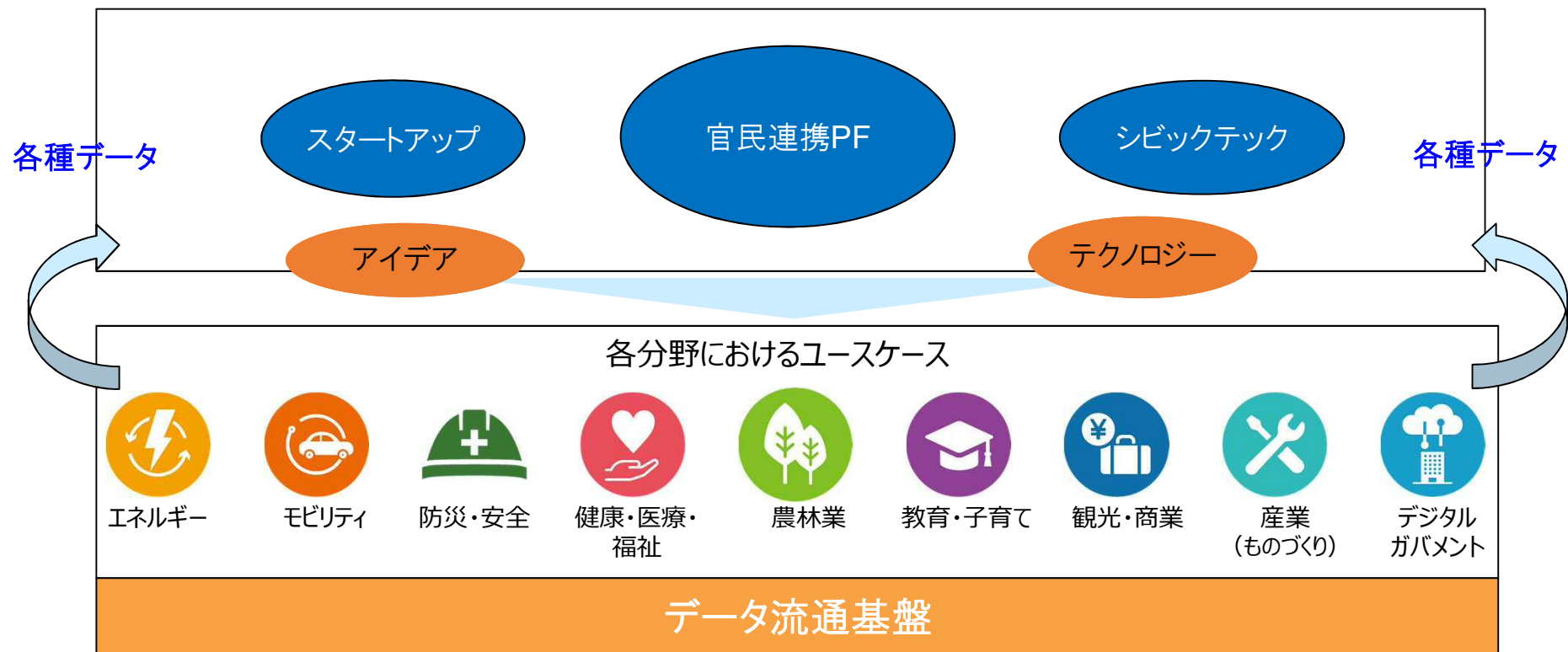
5-7. プロジェクトの創出やデータ流通

- ORI-Projectや実証実験サポート事業、浜松スマートシティMONTH冠事業等に寄せられる提案などを基に、データ利活用のユースケース（サービス案）を検討します。
- また、ユースケースを基にデータ流通のあり方やデータ流通を支える基盤のあり方を整理していきます。



5-8. プロジェクト推進のイメージ

- データ利活用のユースケースについて、スタートアップやシビックテックなどから課題解決のアイデアを募り、実証実験等を通じ、プロジェクトやサービスの実装を目指し、こうした取り組みをアジャイルに進め、エコシステムを形成します。



課題解決のプロジェクトやサービスを創出

6 浜松ORI-Projectの審査結果



募集活動実績

Digital Smart City HAMAMATSU

- 2か月弱（5/15～7/9）の募集期間の後、8件のプロジェクトを採択いたしました。
- 募集期間中は「Webサイト開設」「オンライン募集説明会」「オンライン相談会」を実施し、ORI-Projectの周知を行いました。

全体スケジュール

小項目	2020												2021			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
全体スケジュール		募集		審査	実証実験											
主なイベント		5/15 ▲募集開始	6/1 ▲募集説明会	7/9 ▲募集〆切	8/1 ▲実証実験開始	8/3 ▲採択者向け説明会							1/29 ▲実証実験終了	3/10 ▲成果発表会		

Webサイト開設

- ✓ プロジェクト募集用のWebサイトを開設。
- ✓ 応募のガイドラインや、説明会情報等を発信。



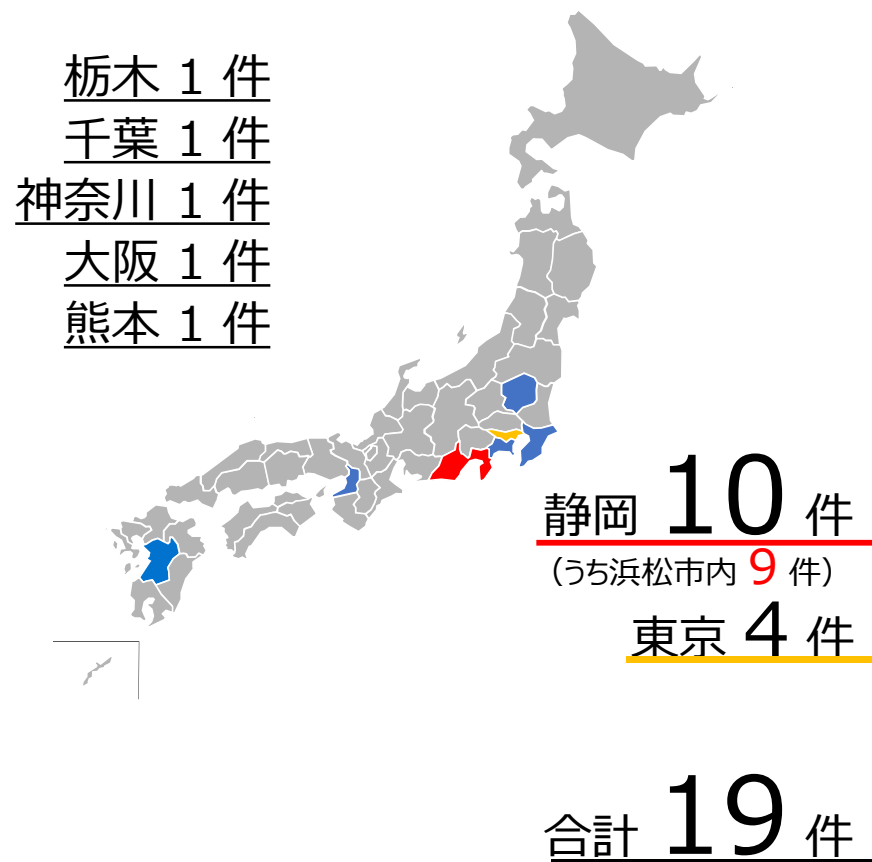
説明会&相談会開催

- ✓ ZOOMを用いたオンライン説明会を開催。100名弱の希望者がオンラインで参加。
- ✓ 期日までに申込のあったプロジェクトに対しては個別相談を実施（計7件）。

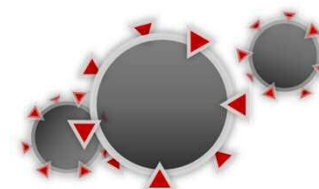


- 2か月弱の応募期間を経て、19件のプロジェクトが提案された。地域としては県内の応募者が最多。
- 全てのテーマがバランス良く選択されており、多様なユースケースの検討に繋がっていることがわかる。

地域別内訳



選択テーマ



COVID-19対策

7 件



複数分野の連携

6 件



その他

6 件

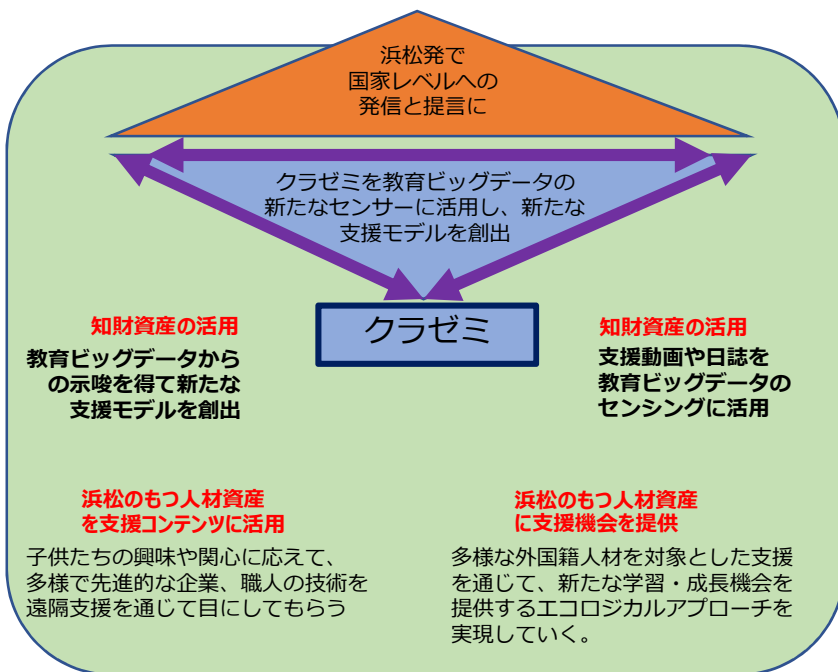
・ スタートアップ、大学、個人事業主と様々なプレイヤーからご応募頂きました。

応募プロジェクト一覧（※テーマ別、50音順）

テーマ	法人名・団体名	代表者氏名	所在地 (都道府県)	所在地	実証実験プロジェクト名称
複数分野の連携	株式会社クラ・ゼミ	倉橋 徒夢	静岡県	浜松市	きらりサポート・プロジェクト ※クラ・ゼミ支援のオープンデータ化、及び新たな遠隔支援の検証
複数分野の連携	静岡大学	木谷 友哉	静岡県	浜松市	高精度衛星測位を用いた市土保全モニタリング
複数分野の連携	株式会社スマートバリュー	渋谷 順	大阪府	大阪市	ORI-Projectデータビジュアライズ実証
複数分野の連携	パイフोटニクス株式会社	池田 貴裕	静岡県	浜松市	光と画像データを活用した中心市街地におけるムクドリ被害対策
複数分野の連携	梅林寺企画	川村 値雅子	静岡県	静岡市	児童・高齢者への支援ネットワークサービス（こども食堂連携・相互情報提供）
COVID-19対策	個人(浜松医科大学所属)	鈴木 哲朗	静岡県	浜松市	ウイルス感染の社会実験的シミュレーション
COVID-19対策	株式会社セールスフォース・ドットコム	小出 伸一	東京都	千代田区	避難所におけるCOVID-19感染防止対策の実証
その他	株式会社オサシ・テクノス	矢野 真妃	東京都	港区	冠水エリア予測システム

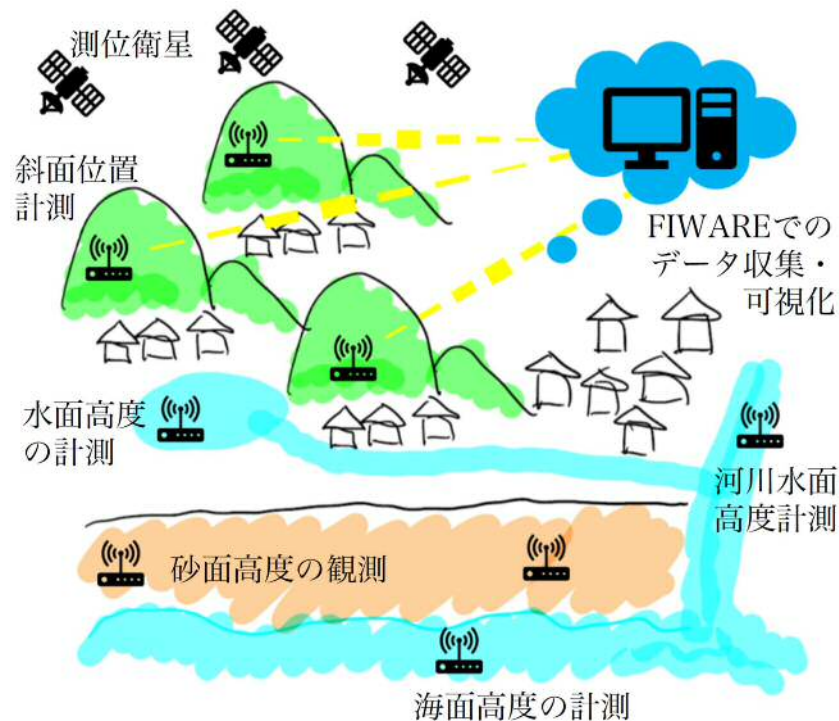


株式会社クラ・ゼミ



本拠所在地	静岡県浜松市
代表者	倉橋 徒夢
テーマ種別	1.複数分野の連携
プロジェクト名称	きりりサポート・プロジェクト
プロジェクト概要	発達障がい児への社会的な関心、研究機運の高まりを捉えた新たな支援モデルを構築する。 クラ・ゼミの知見を浜松市に共有展開して、浜松市の教育・子育て・福祉のサービス向上の一助となれるよう検証する。

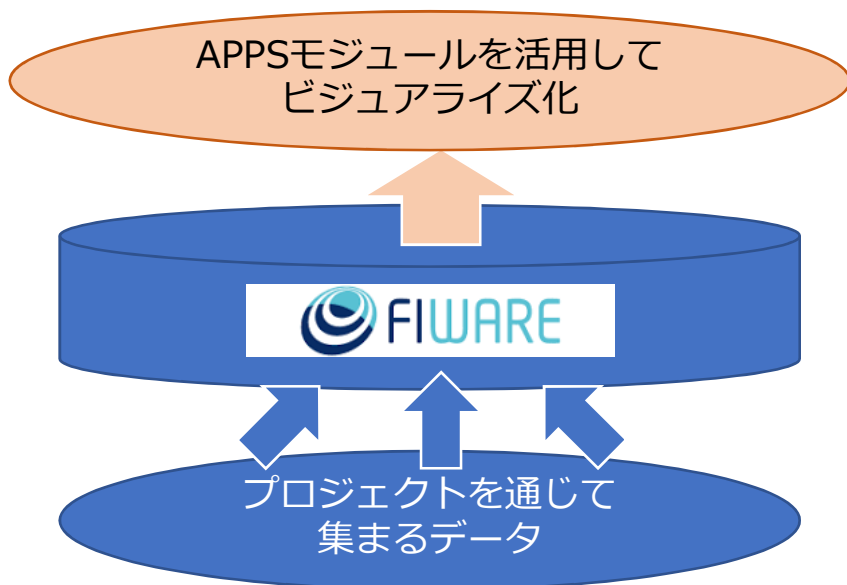
静岡大学 情報学部 木谷研究室



本拠所在地	静岡県浜松市中区
代表者	木谷 友哉
テーマ種別	1.複数分野の連携
プロジェクト名称	高精度衛星測位を用いた市土保全モニタリング
プロジェクト概要	ここ数年で手軽に実現可能になったこの衛星測位によるセンチメートル精度の位置推定技術を用いて、特徴的な地点の地殻や水面の精密な変化をリアルタイムで観測し、防災や市土維持のために役立てられるデータを取得し活用する基盤の構築を目指す。

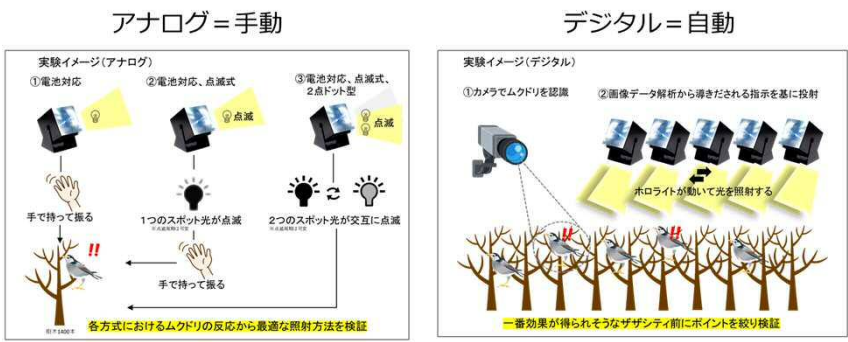


株式会社スマートバリュー



パイフotonクス株式会社

内閣府オープンイノベーションプログラムで実証実験予定のアナログでのムクドリ対策とORI-Projectのデジタルでの実証実験の両輪で効果を検証する。



アナログで取得したムクドリ羽数データとデジタルで取得したデータの整合性を取ることで定量化と正確な効果検証が可能

本拠所在地	大阪市中央区
代表者	渋谷 順
テーマ種別	1.複数分野の連携
プロジェクト名称	ORI-Projectデータビジュアライズ実証
プロジェクト概要	FIWARE上に集約されるデータの利活用としてビジュアライズ化を推進し、市民へ向けた有意義なスマートシティプロジェクトであることを示すとともに、弊社でも研究対象であるFIWAREのAPPSモジュールを用いたダッシュボード化、ビジュアライズ化にチャレンジする。

本拠所在地	静岡県浜松市東区
代表者	池田 貴裕
テーマ種別	1.複数分野の連携
プロジェクト名称	光と画像データを活用した中心市街地におけるムクドリ被害対策
プロジェクト概要	浜松ザザシティ前の街路樹をめぐらとするムクドリの群れに対して指向性の高いLED光を投射することで刺激を与え目的地まで誘導してムクドリ被害を軽減させる。その際のムクドリの動きを画像解析して定量化し、行動特性を検証する。



梅林寺企画

Open data の活用概要図

凡例) ★: open data化検討

今回期間ではまずベースの活用フローを開発します。

下記概要想定の中で一部を抽出して開発とテストを実施します。(災害用保管物資の情報と支援連携 予定)

【支援を受ける側】



- ◆必要物資 (食料等)
 - ・年別別 予定人数等 一自動算出 7代次調査必要量
 - ・必要物資の必要な種類の公開 または、申請
- ◆★ライブサイン --- 継続利用者 (毎訪または定期)
 - 年齢・性別・地域情報・付帯情報



- ◆必要物資 (食料・医薬品等)
 - ・年別別 人数等 一自動算出 7代次調査必要量
 - ・必要物資の種類
- ◆★ライブサイン --- 短期・継続利用者
 - 年齢・性別・地域情報・付帯情報



- ★地域別対応履歴 (総数)
 - 年齢・性別・要介護度・付帯情報
- ◆★ライブサイン --- 継続利用者 (個別)
 - 年齢・性別・地域情報・要介護度等付帯情報



- ★製品 成分等情報

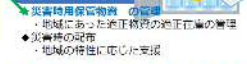
【支援する側】



- ★災害時用保管物資 の管理
 - ・利用別による廃棄物の確認
 - ・地域にあった適正物資の適正在庫の管理
- ◆災害時の配布
 - ・地域にあった適正物資の適正量の支援 (予測)
 - ・避難所等長期滞在者の特性に応じた支援



- ★地域別人口統計 (性別・年齢等)
- ★地域別要介護情報
- ★地域別助学児童情報



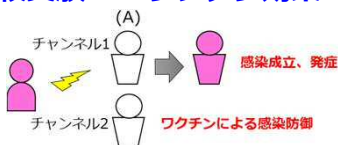
- ★災害時用保管物資 の管理
 - ・地域に合った適正物資の適正在庫の管理
- ◆災害時の配布
 - ・地域の特性に応じた支援

本拠所在地	静岡県静岡市駿河区
代表者	川村 値雅子
テーマ種別	1.複数分野の連携
プロジェクト名称	児童・高齢者への支援ネットワークサービス(子ども食堂連携・相互情報提供)
プロジェクト概要	新型コロナウイルスによる自粛で加速する児童・高齢者の孤立化の解消として、食品・医薬品等物的支援の促進を図るため、既存のオープンデータを利用するとともに、不足のデータやほしいデータの登録機能と利用サービスを提供する。

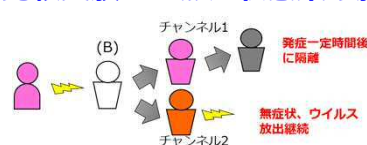


個人(浜松医科大学所属)

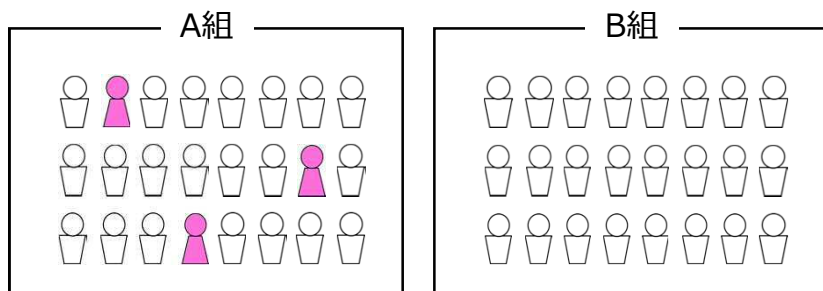
比較実験 1 : ワクチン効果



比較実験 2 : 無症状感染の影響



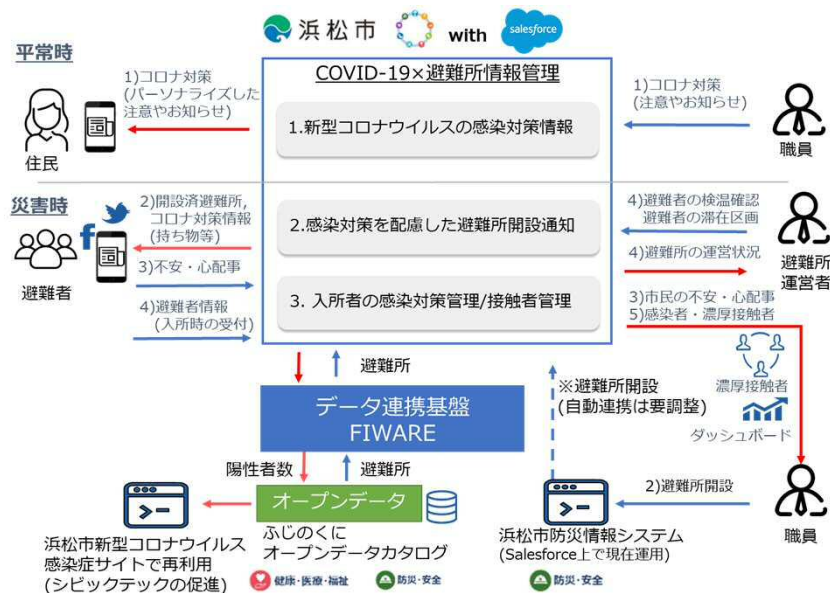
比較実験 3 : 感染対策としての登下校管理の最適化



A組の感染者が何人くらいになったらB組へ広がるか？

本拠所在地	静岡県浜松市東区
代表者	鈴木 哲朗
テーマ種別	2.COVID-19対策
プロジェクト名称	ウイルス感染の社会実験的シミュレーション
プロジェクト概要	ウイルス伝搬、一定潜伏期間後の二次感染など感染の広がりを、実験参加者各人が持つデバイス端末間のシグナル送受信を指標として測定する。住民参加型の実験シミュレーションから得られたデータを共有し、感染症対策についての地域全体の意識、理解を促進する。

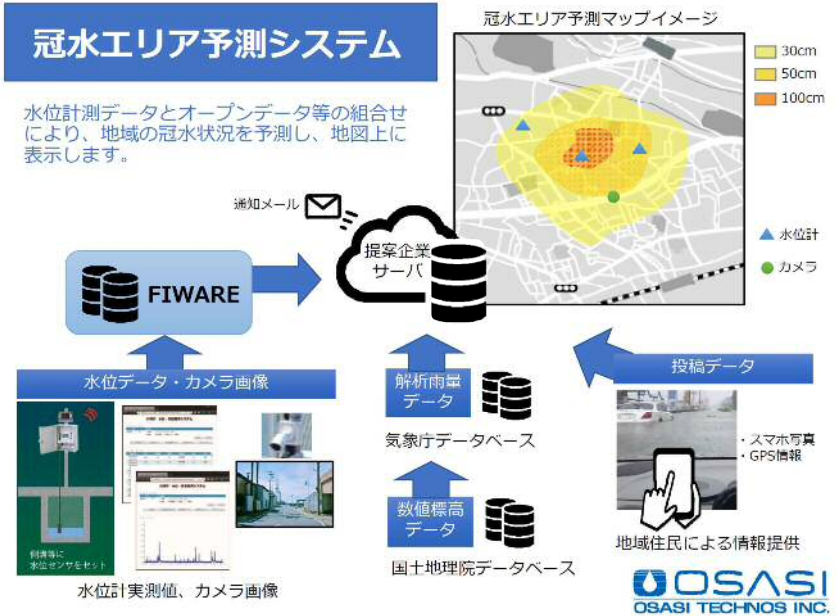
株式会社セールスフォース・ドットコム



本拠所在地	東京都千代田区
代表者	小出 伸一
テーマ種別	2.COVID-19対策
プロジェクト名称	避難所におけるCOVID-19感染防止対策の実証
プロジェクト概要	アプリを活用し、平常時から災害時において①新型コロナウイルスの感染情報の通知、②感染対策に配慮した避難所開設通知、③入所者の感染対策管理/接触者管理などを実施し、COVID-19対策と災害対応の両立を目指す。



株式会社オサシ・テクノス



本拠所在地	東京都港区
代表者	矢野 真妃
テーマ種別	3.その他
プロジェクト名称	冠水エリア予測システム
プロジェクト概要	通常、冠水センサは水位検知センサであるが、本実証では水位を計測できるセンサを使用することにより、その地点の水位から付近一帯の冠水状況を予測し、GIS上に表示する。

7 浜松デジタル・スマートシティMONTH事業の概要



■ MONTH事業の目的

- 「デジタルファースト宣言」の理念や趣旨の普及、浸透を図る。
- 先進技術を活用したサービス等に市民の皆さんが触れる機会を設けることにより、「デジタル・スマートシティ浜松」推進の機運を醸成する。

■ 開催期間

令和2年12月

■ 実施内容

デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー等の開催

7-2. 開催事業



「主催事業」と「冠事業」で構成。月間内に様々なイベント等を開催。

■ 主催事業（浜松市と官民連携プラットフォームが主催する事業）

1. 12/6の地域防災訓練と絡めた体験イベント

- 市民の皆さんの関心も高い「防災・安全」をテーマとする先進的技術等を活用したソリューションを体感できるイベント等を12月6日の地域防災訓練と絡めて実施。
※実施内容は、危機管理課やエネルギー政策課と検討中

2. フォーラム開催

- 6月に開催予定であった設立記念フォーラムをMONTH事業として12月にオンライン開催
- プラットフォームの設立を内外に発信するとともに、デジタル・スマートシティ構想や浜松版MaaS構想の骨子を紹介

7-2. 開催事業



「主催事業」と「冠事業」がMONTHを構成。期間内の様々な時期で開催。

■ 冠事業（企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを募集）

目的

市民の皆様は“デジタル・スマートシティ浜松”を身近に感じていただき、一緒に浜松の未来を考えていく機会とする。

募集事業

以下のすべてに該当する事業

- デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー
- 広く一般の参加を募る（または参加できる）事業
- 令和2年12月に行われる事業
- 浜松市内で行われる事業
- 企業・団体（団体としての規約を有するもの）が行う事業

募集スケジュール

応募締切：8月31日（月）

事業選定：8月31日（月）～9月中旬

事業認定：9月下旬

7-3. ロゴの募集・全体スケジュール

■ ロゴの募集

目的

本市の取組を多くの皆様に知っていただくきっかけとするとともに、「デジタルファースト宣言」の理念や、「デジタル・スマートシティ浜松」を象徴し、かがやく未来についての想像をかきたてるようなロゴマークを設定する。

利用シーン

1. 官民連携プラットフォームのWebサイトや各種媒体などの広報ツールへの掲載
2. 「デジタル・スマートシティ浜松」に関する取組に関連する文書等への掲載
3. 「デジタル・スマートシティ浜松」に関して今後実施する各種イベントにおける使用

応募資格・締切

応募資格：どなたでも応募可能（1人1点まで）。

応募締切：令和2年8月20日（木） ※令和2年10月1日（木）公式ロゴマーク公表予定

■ 全体スケジュール

項目		2020年度					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
主催事業	防災訓練 関連事業	実施内容検討			事業PR		●12/6 開催
	フォーラム	開催内容検討					●開催 (開催日未定)
冠事業	冠事業	冠事業募集		選定	←開催→		
	ロゴ募集	ロゴ募集		選定			●公表

8 意見交換

